

令和4年度長崎大学水産学部出前講義メニュー

番号	氏名	タイトル	科目	小分類
1	天野 雅男	クジラ類の生態と社会	生物	鯨類学
2	荒川 修	フグはなぜ毒をもつのか	化学	水産化学
3	石橋 郁人	海の生物が作る有用な化合物	化学	有機化学
4	市川 寿	食品の食べ易さとは—ユニバーサルデザインフードの開発に向けて—	化学	筋肉生化学
5	井上 徹志	微生物の技—発酵食品	生物	微生物学
6	井上 徹志	スシは発酵食品？	生物	微生物学
7	上野 幹憲	海藻のネバネバのお話	化学	生化学
8	長富 潔	遺伝子工学の水産への応用	化学	分子生物学
9	亀田 和彦	海洋生物資源と私たちがともに生きること	社会	海洋社会科学
10	河端 雄毅	稚魚の捕食者回避行動を調べる	生物	行動学・生態学
11	河邊 玲	ヒラメの泳ぎ方を知っていますか？ ～バイオリギングを用いて魚類の回避行動を調べる～	生物	行動生態学
12	金 禧珍	光のある海洋プランクトンの世界	生物	海洋生物学
13	清田 雅史	海の環境と生態系の特徴について	生物	海洋生態学
14	桑野 和可	水面下の危機 —衰退する海の森—	生物	藻類学
15	小山 喬	遺伝と水産養殖との関わり	生物	遺伝育種学
16	近藤 能子	化学から探る海の環境	化学	海洋化学
17	阪倉 良孝	魚を作り育てる—魚のイクメン—	生物	増殖学
18	サイト シル グレン ベレス	”物”にくっついて生活する海の生き物達の話	生物	生物環境学
19	清水 健一	海の上で船の位置やスピードを知る	物理又は地学	海洋計測器学
20	菅 向志郎	水産のバイオテクノロジー —環境、魚病での利用法—	生物	魚病学・分子生物学
21	鈴木 利一	プランクトンを覗いてみよう	生物	浮游生物学
22	征矢野 清	魚の性の不思議	生物	魚類内分泌学
23	高谷 智裕	フグとフグ毒のはなし	化学	食品衛生学
24	滝川 哲太郎	東シナ海から対馬海峡そして日本海へと流れる対馬暖流	物理又は地学	海洋物理学
25	竹内 清治	砂に潜る二枚貝 —生き抜くための戦略—	生物	生態学
26	竹垣 毅	有明干潟生態系のシンボル、ムツゴロウの生態学	生物	魚類生態学
27	武田 重信	黄砂が海と気候を変える？	生物	水産海洋学
28	谷山 茂人	地球温暖化の影響！？温帯の海に南の毒魚が現れる	生物	水産食品学
29	ニシハラ グレゴリー ナキ	藻類の力学	生物	藻類学・生物力学
30	濱田 友貴	魚介類アレルギーの原因を探る！	生物又は化学	水産化学
31	平坂 勝也	和食（日本食）の科学	化学	栄養学
32	広瀬 美由紀	超音波を使って水中を覗いてみよう	物理又は生物	海洋音響計測学
33	松下 吉樹	海の狩猟、漁業 —魚の獲り方、逃がし方—	生物	漁具漁法学
34	八木 光晴	マイクロプラスチックの話	生物又は物理	生産システム学
35	柳下 直己	知っているようで知らない魚の話	生物	魚類学
36	山口 敦子	海の生き物を知る —サメ・エイ学入門—	生物	魚類学
37	山口 健一	おいしい海苔のはなし	化学	生物物理化学
38	山田 明德	都合のいい魚は好きですか？	生物	遺伝子解析学
39	山本 尚俊	マグロ養殖はトロ消費を支える救世主！？	社会	海洋社会科学
40	吉田 朝美	刺身を科学する ～魚類筋肉タンパク質の分解機構～	生物	生物化学
41	和田 実	共生は海の微生物のキーワード	生物	海洋微生物学